



寄宿舎は廃止

有馬 寄宿舎は、昨年みたい
に、みだれ寮生活ではない。
去年は寄宿舎P.T.A.の役員
会で、親たちが交替で監視の
ために寮へ泊まりこんで監視
もあつたが、今年は監視する
必要はなくなつてゐる。

寄宿舎の存廃については、
P.T.A.でもいろいろと話しあ
いて深めてきたが、私として
は、「寮を廃止すべきだ」と考
えられたと思うし、廃止の方向
で、一歩も二歩も前進させて
ほしいと思う。

三和(津) 結論からいって、寄
宿舎廃止に賛成である。義務
教育では、親もとから通学さ
せるべきであり、寮は必要な
いと思う。廃止した場合そこ
で働く人たちが通学をどうす
るか心配した方がよいと思
う。働く人たちのことは村で
検討すべきであるが、通学バ
スは必要ないと思います。

は、通学バスはいらないとい
う地域の人たちの意見はど
うか。
尾崎 私は子どもを一人中
校へ入れてゐるが、二人とも
寮へ入れてゐない。寮に入
れるとどうしても親子の対
話をとらえるのに自信をなく
し、子どもを、子どもを
心をとらえるのに自信をなく
し、子どもを、子どもを
そうだからです。自分の子
に親が責任をもつて義務教育
をさせる立場からも通学させ
てゐます。学校で問題を起こ
した場合、「先生方は何をして
いるんだ」という人がいる。
自分の責任を先生方に転嫁し
てゐるだけでは解決にはつな
がらないと思います。自分の
責任で育て、家から通学させ
れば寮での問題だけでもなく
なはずで、寮は廃止すべ
きだと思ふ。



十三 有馬 正年さん

学バスを運行してほしい。
司会 有馬さんの意見は、寄
宿舎は廃止、廃止後の通学
体制は冬期間だけ確保してほ
しい。あとは普通通学でよい
ということ。
これは、地域全体の問題で
あり、将来を担う子どもたち
の教育をどうか、考えな
ければならぬ。自分の家庭
に対象になる子どもがある、
なしにかかわらず地域全体の
問題として積極的に意見を出
してほしい。



脇元 成田 永吉さん

だものです。そういうなつか
しい思い出もあります。
「物をつくる」ということは
非常にむずかしい。しかし、
作られたものに苦勞を重ね
て作りあげたものでも、いま
こわすことは簡単にできます。
でも、これらは「全寮制」
にすると、行政側
でも考えていないと思ひます。
全寮制を主張したいのですが、

行政に速度をもたせ さらに努力

助役 いろいろと貴重な意見
が多く出されましたが、真剣
に検討させていただきました。
私たちは、答弁をする際、
「検討したい」とか「考慮す
る」という言葉をよく使いま
すが、行政というものは一人
の人が簡単に決断できること
が少なく、いろいろな機関に
はかることも必要になつてき
ます。ややもすれば「検討、
検討」といふ言葉ばかりで、
何か一つ作るにしても、計
画し、実施するのだが、計画
のところ、時間をかけすぎる
と実施がおくられてしまう。こ
の辺で時間を大事にしなが
ら行政に速度をもたせたいと思
つてゐます。みなさんから出
された意見については、厳し
く受けとめて、問題解決に当
たりますので、一層のご協力
をお願いします。



助役 工藤誠一郎

結果的に寄宿舎を廃止する
ことに賛成せざるを得ません。
司会 こういふ会合は、これ
からも続けていく予定であり
このほか、村長の行政相談
日の開設、村長への手紙を出す
運動なども計画してゐます。
「みんなの村は、みんなで造
るんだ」という立場のご意
見をいただきましたありがとうございます。
最後に、助役からあいさつ
をいただき、閉会とします。

われらが守る



150人の関係者らが集まり盛大に行なわれた30周年式典

興立金木高等学校相内分校
(須藤安一教頭、生徒数二十)

四人の創立三十周年記念式典は、九月十一日午前十時三

三十年節目に決意新た

十分から、同校体育館に来賓・PTA・同窓生ら関係者約百五十人が出席して、盛大に行われました。

一時は廊下寸前の凄まじくも遭っただけに、生徒や先生はもちろん、関係者も大喜び。また、去る八月、東京、神戸、宮野球場等で開催された全国大会では、同校軟式野球部がベスト8の進出を果たし、三十周年に花を添えました。

この日の式典では、川嶋定和校長が「働きながら学ぶ四十年間は、言うはやさしく、行なはなみだいていのものでない。忍耐を伴う四十年間の高

校生活は、必ずや諸君の人生に力強い生き方を教えてくれるだろう。先輩が築いた輝かしい伝統を誇りとし、ふるさとの時代にふさわしい村の発展と分校発展に貢献してください。」と式辞を述べました。

続いて、創立三十周年協賛会長である三重賀市浦村長は「生徒数の減少が余儀無くされているが、卒業生の大半が本村の中堅として活躍しており、分校の価値ある灯」をたやすわけにはいかない。先輩の残してくれた栄光を胸はきつ引き継いでほしい。働きながら学び、そして全国軟式野球大会では、見事ベスト8を果たしたことは、自分たちの戦いにも勝った証でもある。」とほめたうえで、これまでの経緯と協力者への感謝のこ



活躍が期待される二十四人の在校生



伝統は

相内分校の あゆみ

- 昭和28年4月1日
青森県金木高等学校（組合立定時制普通課程）相内分校として、旧相内中学校に併置（昼間二部制）
- 昭和28年5月1日
開校式、第1回入学式
- 昭和30年4月1日
相内小学校旧校舎に移転（昼間二部制を廃止し昼間だけとなる）
- 昭和32年3月5日
第1回卒業式（卒業生9名）
- 昭和38年3月1日
県立金木高等学校相内分校（定時制課程）となる。
- 昭和40年3月31日
中心校（定時制課程）廃止となる。
- 昭和42年1月23日
相内分校歌制定。
- 昭和45年9月7日
市浦村立相内中学校旧校舎へ移転。
- 昭和48年9月1日
創立20周年記念式典挙行。
- 昭和56年5月21日
校舎前庭を中心に桜（ソメイヨシノ）120本植樹。
- 昭和56年12月26日
校訓・教育目標・学校経営方針の大額縁の掲示。
- 昭和57年6月20日～21日
第32回定通総体軟式野球部優勝。
- 昭和58年6月19日
県高等学校運動部活動奨励賞を定時制として初の受賞。
- 昭和58年6月20日
第34回県高等学校定時制・通信制総合体育大会（軟式野球優勝）
- 昭和58年8月16日
第30回全国高等学校定時制・通信制軟式野球大会に出場（準々決勝まで進出）
- 昭和58年9月11日
創立30周年記念式典挙行



30年の歴史と伝統を刻みこむ金木高相内分校

そのあと、歴代村長、PTA、同窓会長らに感謝状を贈呈。来賓として出席した尾野敬八県教育委員、花田一県定通制教育振興会長、木村守男衆議院議員、成田一憲興議会議員らが次々励ましの祝辞を送りました。

終わりに全校生徒代表の成田寿光君が「一時は廃校の声も聞かれた相内分校は、満三十歳」にして私たちの心に引き継がれました。先輩たちの残した在校生の使命である」と、力強い決意と、喜びのこたばを述べました。

午後からは、コミュニティセンターで祝賀会を開き、三十年間の懐かしい思い出を語り合っていました。



30周年記念式典では、感謝状の贈呈も、川嶋定和校長から感謝状を呈した成田一（右）

感謝状 贈呈者

- 治三郎
- ▽歴代村長 柏谷秀一、白川
- ▽歴代主任・主事・教頭 光井一郎、田沢勝二、高松義
- ▽特別感謝状 奈良源悦
- ▽高額寄付者 山谷ちえ
- ▽歴代PTA会長 佐藤与
- ▽西定雄、成田義尚
- ▽歴代同窓会長 三和博明
- 丁子谷勇



横網 山田弥一さん

市浦村長寿番付



横網 梶浦そわさん

東方 西方

	氏名	年齢	生年月日	地区
			明	
横網	山田 弥一	93	23.9.16	脇元
大関	葛西 磯吉	92	24.11.23	磯松
大関	脇 高田 さた	90	26.7.17	桂川
小結	山崎 みよ	90	26.11.15	磯松
前頭1	奈良 長市	89	27.10.24	太田
2	奈良 タヨ	89	27.12.28	太田
3	葛西 はつ	88	28.11.5	脇元
4	佐藤 アサ	87	29.5.7	相内
5	小寺 やさ	87	29.10.10	十三
6	大沢 およ	86	30.4.10	相内
7	相沢長一郎	86	30.6.6	磯松
8	藤田 さき	86	30.11.8	相内
9	戸崎 チヨ	86	30.11.27	相内
10	萬谷 アサ	85	31.1.10	脇元
11	中島 まさ	85	31.6.18	十三
12	沼田 イマ	85	31.9.16	脇元
13	浜田 マユ	84	32.4.22	十三
14	岡本 タマ	84	32.8.1	相内
15	小山 重吉	83	33.3.4	十三
十両1	後藤 リヨ	83	33.5.15	磯松
2	山田 キヨ	83	33.6.27	脇元
3	工藤 サナ	83	33.9.9	相内
4	今 ハシメ	82	34.1.3	磯松
5	今 儀作	82	34.3.20	相内
6	藤田 はつ	82	34.3.28	磯松
7	寺谷 武男	82	34.6.27	相内
8	吉田 ヨツ	82	34.7.24	相内
9	佐藤 しま	82	34.11.25	相内
10	大川 ジュン	82	34.12.23	磯松

装苑

(明治三十四年十二月二十三日までに生まれた満八十八歳以上の方)

勸進元・市浦村役場

	氏名	年齢	生年月日	地区
			明	
横網	梶浦 そわ	92	24.9.25	十三
大関	葛西 そよ	91	25.4.10	磯松
大関	脇 浜田和二郎	90	26.9.23	十三
小結	山田 つぐ	89	27.8.20	脇元
前頭1	白川 カシ	89	27.11.10	相内
2	白川 ソヨ	88	28.7.17	相内
3	浜田 男茶	87	29.1.5	十三
4	後藤 志わ	87	29.5.18	磯松
5	村山国四郎	87	29.12.9	相内
6	藤田佐太郎	86	30.6.3	磯松
7	高田 たよ	86	30.10.26	十三
8	秋田谷クニ	86	30.11.10	桂川
9	小山内そど	86	30.12.7	十三
10	山田 き江	85	31.3.8	脇元
11	豊島三之助	85	31.9.14	十三
12	成田 タミ	85	31.9.30	脇元
13	木村 クニ	84	32.5.23	十三
14	浜田 リセ	83	33.1.25	十三
15	三上 スワ	83	33.5.5	脇元
十両1	近藤 イヨ	83	33.6.1	十三
2	福島雷太郎	83	33.9.1	十三
3	安田 キサ	83	33.9.23	十三
4	木村 兼三	82	34.3.1	磯松
5	下山 タヨ	82	34.3.20	相内
6	山田 ミエ	82	34.6.1	相内
7	新潟 ソメ	82	34.7.14	磯松
8	和島 ミワ	82	34.11.11	磯松
9	秋田谷フヨ	82	34.11.25	桂川



大関入りを果たした葛西磯吉・そよさん夫婦

まだまだ 元気です

九月十五日は「敬老の日」長い間社会に貢献してきた六十五歳以上のお年寄りは、九月十五日現在で五百六十四人、人口四千五百五十八人の十三・六割に当たりますが、このうち、八十歳以上のお年寄り

は九十一人(男二十八人・女六十三人)で、昨年の八十三人に比べ八人増えました。八十二歳以上の番付では、九十三歳の山田弥一さんが東方の横網に、西方の横網には九十一歳の梶浦そわさんが顔をそろえました。

また、葛西磯吉・そよさん夫婦が、仲よく大関にランクされました。



農協組合長に 葛西敬太郎氏を選任

八月二十六日開催
した市浦村農業協同
組合の組織会で、葛
西敬太郎氏（58歳）
が、新しく組合長に
選ばれました。

就任のごあいさつ

農家はいま、第三期水田
利用再編対策や農産物輸入
の自由化の問題、さらには
畜産価格の低迷と三年続き
の冷害害など、大きなカベ
に直面しています。
このような大切な時期に、
農協経営を任せられること
になり、その責任の重さを
痛感していると同時に、こ
れまで学んだいささかな経
験を生かして、難局打開に
当たりたいと思っております。
農協運動の原点である「協
同の精神」をみつめなおし、
さらに役職員と関係機関と
の連携を強め、農家の生活
向上に心血を注ぐ覚悟であ
ります。
村民各位のご指導とご協
力をお願い申し上げます。就任
のごあいさつといたします。

10月1日からスタート

ふるさと条例

新婚永住には2万円

三人目以上出産には 祝金10万円

長引く沿岸漁業の不振や三
年続きの冷害害に加え、名物
のシジミ漁も年々減少してお
り、現金収入を求めての出稼
ぎが続いています。

村では「村民の定住をはか
り、生活及び生産活動を高め
ることが、住民福祉の向上に
つながる」との考え方に立
つて「ふるさと定住対策条例」
を制定し、十月一日から事業
がスタートすることになりま
した。

この「ふるさと定住対策条

例」は、三人目以上の子供が
誕生した時に十万円、村内に
永住しようという新婚カップ
ルには一万円の祝い金を贈る。
また、それぞれの記念にツ
ツジと「サクラ」の苗木を、
春と秋の二回に分けてブレゼ
ントし、山村広場附近の公園
用地に植樹してもらうことに
しています。

さらに、将来を担う元気な
子供を産んでもらうために、
妊娠届を出した女性には、届
出した翌月から出産まで毎日

牛乳一本（二百cc）家庭に配
達し、乳製品については支給
対象者一人一月千四百グラ
ム以内とします。
農林水産加工から情報産業
先端技術まで、新しい技術の
習得を希望する人には、目的
地までの往復の旅費と一日千
五百円の助成金を出すことに
しています。

対象者は申請して

この条例では、出産祝金及
び奨励金または栄養食品を受
給しようとする方は、村長に
申請することと義務づけてお
り、村長は、その内容を審査
して、当該申請に係る支給を
決定することとしています。

相内保育所で 交通安全パレード



事故防止を呼びかけた相内保育所のよい子たち

かわいいね 沿道から大きな拍手

秋の全国交通安全運動を前
に、相内保育所（葛西安十郎
所長）では、園児鼓笛隊によ
り村内目ぬき通りを交通安全
パレードを行い、事故防止を
呼びかけました。
この日、保育所のよい子た
ちは、お母さんや保母さんた
ちに真つ赤なコスチュームを
着せてもらい大喜び。
パレードには、交通安全タ
スクをかけた、かわいい子供

事故から守ろうと、ババ安全運
転おねがいね、などのプラカ
ードを持ったお父さんやお母
さんも参加しました。
また、保母さんたちが心を
こめて作った扇おたを引く
園児にも、沿道地区住民から
大きな拍手が沸き、途中、パ
ンとジュースで一休みしなが
ら、約一・五キロメートルを
元気にパレードしました。

再スタートだ

交通事故死亡ゼロ 733日でストップ



「それぞれの立場で事故防止に立ち上がろう」とあいさつする鳥津典明
明体協会長

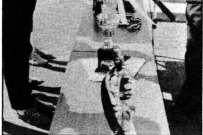
市浦村体育協会（鳥津典明会長）主催の第六回交通安全大会が、九月十八日、一般の部四、中学校の部三の七チームが参加して開かれた。

この大会は、駅伝をとおして交通安全思想の高揚啓発に努め、事故のない明るい社会づくりと、村民相互の親善を深めることを目的に開かれて

十三公民館をスタートし、各部落の「目抜き通り」を通り、コミュニティセンターに至る二十五・一、十区間を交通安全と明るい選挙を呼びかけたタスキをかけて、健脚を競い合いました。

本村では、五十六年八月二十日以来、交通事故による死亡者ゼロの記録が続けていますが、去る八月二十三日、磯松地区の国道339号線で、小泊村の若者が運転する暴走車が砂防林に突っ込み、一人が死亡しました。

このため、交通死亡事故ゼロ



カメラトビウ

の記録は七百三十三日でストップし、関係者をガツカリさせました。

駅伝大会の開会式では、鳥津典明会長が、村民総ぐるみで交通安全運動を展開し、八月十九日には死亡事故ゼロ七百三十三日の記録を達成した。その数日後には、不幸な死亡事故が発生し、この記録はまた第一歩からスタートしなければならぬ。駅伝大会を契機に、それぞれの立場で交通安全防止に立ち上がるよう」と呼びかけ、三和敬道選手が「交通事故をこの地域、職場・家庭から追放し、幸福で健康的な村づくりの主力を担います」と力強く選手宣誓をし、好天の下、心地よい汗を流していました。



開会式には七チーム百二十人が参加しました。

第6回交通安全駅伝大会

心を引きしめ

優勝

一般の部・商工会チーム 中学校の部・野球部チーム

競技結果は次のとおりです

▽一般の部 ①商工会(中島 小倉、成田、三浦) 小寺、

伊藤、佐藤、猿賀、三浦(例、三和) 1時間44分14秒。②三内青年団(三和) 成田、三浦(例)、米谷、佐藤、三浦(例)、上野、三上、三和(例、平野)

三和(例、浜田) 1時間42分3秒。②サッカー部(村元、藤引、岡、笹山、山田、福島、井村、竹谷、三上、樫引(例)、伊部) 1時間45分46秒。③陸上部(子谷、白川、若山、山崎、秋田谷、大谷、福土、藤田、村上、嶋海) 1時間50分52秒。

区間ラップタイム

▽中学校の部 ①野球部(三和) 藤田、三和(例)、中山、成田、三和(例)、相川、山田、

一般の部 一区|三和(例) 二区|小倉青年団 9分27秒、二区|小倉勝産(商工会) 10分19秒、大会新、三区|成田勝産(商工会) 9分49秒、四区|工藤(例) 9分30秒、五区|石岡(例) 14分1秒、六区|伊藤千太郎(商工会) 9分26秒、七区|上野(青年団) 10分21秒、八区|三上(青年団) 21分

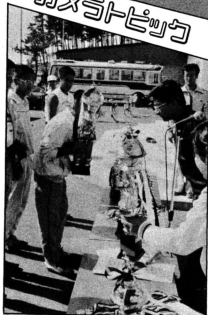
48秒、九区|三浦秀治(商工会) 9分41秒、大会新、十区|三和敬道(商工会) 12分、大会新。
中学校の部 一区|三和(例) 8分38秒、二区|藤田英樹(野球部) 11分18秒、三区|佐山博康(サッカー部) 9分11秒、四区|中山克彦(野球部) 8分46秒、五区|成田登志彦(野球部) 13分52秒、大会新、六区|三和道春(野球部) 8分43秒、七区|相川聡貴(野球部) 10分3秒、八区|山田洋一(野球部) 7分13秒、九区|樫引康彦(サッカー部) 10分8秒、十区|伊南納(サッカー部) 12分15秒、大会新。



事故防止のため、最後まで一生けんめい走り抜いて下さいと激励する小笠原精治郎全警署署長



カメラトピック





▶54◀



春日内観音堂

法燈への道

(3)

飛竜宮の由来

いそぎたい鑑定

前号掲載の竜興寺址出土の金銅仏(同寺に鳥居奉納の工事)に発掘されたという。

個人所有)や五一号所蔵の山王坊出土の金銅仏(蓮華庵奉祭)の年代がいづれも気になることです。

もちろん、中世期の有名な寺院境内から出土したもののなので、鎌倉時代や室町時代の仏像であろうと推測しているのですが、いづれにしても専門家の鑑定をいそいでもらいたいものだと考えます。

それに伴って、仏像そのものの価値も出て来るであろうし、それらが出土した遺跡も価値づけられるし、市浦村の海運関係を調べる上の重要な資料なわけですからです。

春日内観音堂の変遷

竜興寺の名刹跡に寛文九年(一六六九、津軽藩四代信政時代)村民の勧請によって「飛竜宮」が創建された

といわれています。また、藩政以前に既に祀られていたともいわれます。俗称春日内の地域にあるので、現在では「春日内観音堂」として津軽三十三霊場の十七番の札所として巡礼の鈴の音のこだまする霊地となっています。

明治三年の神仏分離令によって一時廃社となり、「春日内神社」として復活し、さらに大正年代にはいつから、「春日内観音堂」と命名されたわけです。竜興寺・飛竜宮・春日内神社・春日内観音堂と変遷しています。法燈の道の栄枯盛衰、諸行無常は世の常ながら、感慨無量ひとしおの情を禁じえません。

本尊も一面観音から聖観音と変わっていますが、精堂は相対しています。のどかというところです。

十七番の札所

野をも過ぎ山路に向う雨の空
折れば晴るる峰の曇りも
いつだったか民俗調査に
来訪した方から、「雨乞いの神を祀っている社があり

ませんか。」と問われたことがあるので、屏風山地帯の広瀬宮(庵村長浜村鎮座、平海沼西、津軽藩四社の一)を知らせたら、「雨上がりの神は？」と逆襲されて兜を脱いだことがあります。

この春日内観音は、この脚歌によりまず、まさしくこの雨上がりの神だったわけで流汗三斗の思いがします。前身が飛竜宮であったことからして、日照り続きになり田圃が割れるようになってになると村民が神前に集って雨乞い行事も施行したであろうし、また雨が何十日と続くとも田圃が洪水となり、けがけが騒々てくることになるので、神前に訴いついて雨上がりの行事が行なわれたことでしょう。靈験あらたかな神や仏の鎮座します。春日内観音さまであります。

今泉の観音さまからの巡礼が春日内の観音さまをかけた小泊の観音へと向かった古昔を想うと、うたえ懐古の情にかられる法燈の道です。

と の 部

②

津軽のこわざ

年寄りの子は賢し 両股が年をとってから生れた子は利巧だといわれる

隣りのケンカど他村の火事ア面白 自分に関係がなく、人が困るのは面白い。利己心、次次馬根性をいう。

隣りの番はし妙らなくても 旨え 他人のものがよく見えること。

隣り知らずの牡丹餅 弥三郎節に「隣り知らずのボダ餅コ嫁にかせねで着かぐすと、と唄われているように、ボダ餅のことを隣り知らずという。これは掲いだのを隣りが知らないからだという。若狭ではボダ餅のことを夜舟という。これは、ついたことを知らないからだといえる。

泥(糺)補えでから縄なる 準備のないこと。処置がおくれて間に合わないこと。

尻サ目薬 見当違いのこと(参考) 腹痛サ膏薬 泥棒にも三分の理窟 無理な理くつても分ればつけられるたとえ。



未納保険料は 残っていませんか

国民年金の保険料は、今年度の分(昭和58年4月分から59年3月分まで)は、役場から送られてきている納付案内書で納めなければなりません。前年度以前の分(昭和58年3月以前の分)は、社会保険事務所から送られてくる納付書で納めなければなりません。

未納のまま2年経ちますと、時効のため納めることができなくなってしまう、障害年金や母子年金をはじめとして、老齢年金も受けられなくなることもあります。

過年度分についても納付状況をよく調べ、未納になっている分は急いで納めるようにしましょう。

11月6日 正職員の採用試験

青森県町村会に委託して行われる正規の市浦村職員の採用試験が、11月6日、青森市(会場未定)で実施される予定です。(詳しいことは、正式に決定してから回覧等でお知らせします)

みんなの胸に
赤い羽根



共同基金にご協力ください

電話番号 二七八八番
市浦村大字相内字相内
六六番地の一号
自宅住所

軽くお申し出ください。
週間中も自宅で相談に応じますので、どんな小さなことでも結構です、遠慮なくお気軽にお申し出ください。

役場の電話は2111番です
おしらせ



スピード違反しないでね！ 村内の速度規制変更

9月21日から村内の速度規制が次のようになります。

- 相内木材株式会社付近交差点から市浦電話交換局までの区間が30キロになります。
- 市浦電話交換局から磯松パイパス入口までの区間が40キロです。
- 磯松パイパスは、50キロになります。

学生募集!!

青森職業訓練短期大学校

青森職業訓練短期大学校が昭和59年4月、五所川原市に開校しますが、このほど、59年度の学生募集要項が決定しました。

本校は労働力の高質化への要請にこたえるため、高校教育の基礎の上に2年間の課程で、学科と実験・実習を組織化・一体化した教育訓練を行い、生産現場においては、自ら加工生産を行う実技能力をもち、しかも、技術革新による生産技術の変化にも対応できる創造性豊かな、学理的素養と実技能力を併せ備えた実践技術者を養成し、地域産業に寄与することを目的としています。

- 募集要項は次のとおりです。
- 募集科名・生産機械科・金属成形科・電子科・建築設備科(仮称)
- 募集定員 各科20名、計80名(男・女)

- 教育訓練期間 2年
- 願書受付 昭和59年1月25日から昭和59年2月8日
- 試験日 昭和59年2月22日
- 試験地 本校、青森市、秋田市、盛岡市
- 試験科目 数学I、英語A、物理I、又は化学I
- お問い合わせ及び入学案内の申し込み先
〒037-06
五所川原市大字戸沢字畑林21
青森職業訓練短期大学校開設準備室
電話 (0173) 37-3048

ご協力とおねがい 3分間のまごころ

小泊電報電話局では、耳や言葉の不自由な人たちが、緊急の用事を頼む際に役立ててもらおうと「電話をお願い手帳」を配布しています。



この手帳は、オレンジ色の表紙で「恐れいりますが、私は耳、言葉が不自由なため、電話がかけられません。私のかわりに電話して下さい」との依頼文と110番、119番など緊急通話の依頼と用件を手短かに伝えられるようになってい

ます。「電話をお願い手帳」を示し、電話依頼のメモを渡されましたら、みなさまの暖かい手で心よく電話をかけてくださるよう、ご協力をお願いします。



行政相談委員
白川 行雄

気軽に
ご相談ください

十月十六日から二十一日まで「秋の行政相談週間」が行われます。

わたしたちが毎日の生活の中で行政に対して持っている苦情や意見、要望などを聞き、公平・中立な第三者的立場でその一つ一つについて問題の解決を図り、行政の改善に役立てていく。それが「行政相談」です。

相談は無料で、相談される方や相談内容についての秘密は固く守ります。

週間中も自宅でも相談に応じますので、どんな小さなことでも結構です、遠慮なくお気軽にお申し出ください。

青少年の 豊かな心を育てよう

子供たちに「基本的な生活習慣」を身につけさせるには、健全な心を育てていくと同時に、健康な体をつくることも重要です。

特に小学生、中学生のころは、体の発達が一生のうちでいちばん盛んです。この時期に体を鍛え、たくましい体と精神面での粘り強さを身につけさせるようにしましょう。

一般に、遊びやスポーツで体を動かす子供は、そうでない子供に比べ、次のような点で優れているといわれます。

- ①運動能力 ②体の健康 ③社会的性 ④情緒の安定 ⑤知的能力

運動といった場合、大人は体を鍛えるためにジョギングするなど、健康や体力づくり

基本的な生活習慣

子供は外で遊ばせよう

子供を戸外で遊ばせる工夫

- ▽土に触れさせる
- ・はだし遊び、どろんこ遊び

の手段として考えます。しかし、子供にとつての運動は、じつとしていられず運動になり、楽しく面白く体を動かすというのが最も自然な形です。毎日の生活の中に体を動かす遊びを取り入れたり、日曜日などには、次の例のような学校活動や地域活動に参加して、子供を戸外で遊ばせるようにしましょう。

- ・花づくり、野菜づくり
- ・アリの巣観察、土の中の住む生物の観察
- ・いも堀り、山菜とり



子供たちは外で遊ぶのが大好きです。

- ▽屋外スポーツをさせる
- ・オリエンテーリング、ハイキング、山登り、水泳
- ・スキー・スケート
- ・キャンプ、臨海学校、林間学校

バイクの 自賠責保険(共済) 忘れていませんか



小さくて手軽に乗れるが、という便利さから、バイクの利用者が毎年増えています。最近では、そのファッション性が受けて女性にも広く利用されています。

しかし、利用者が増えるにつれて、バイクにかかわる交通事故も増加しています。小さなバイクだからといって、事故が小さいとは限りません。人身事故もたくさん起きているのです。

もし、無保険(無共済)で死傷事故でも起こしたら、それこそたいへん。損害賠償額が高額化してきているため、無保険(無共済)状態である

成田 豊さん長男(脇元) 侑世ちゃん(6カ月)
お父さんまはだ来ないかなア。
早く帰って遊んでくればよいのに...
電話で呼び出そうかな?



戸籍の窓

- 木村 輝彰(深浦)
- 和嶋 久子(東京)
- 鈴木 康司(磯松)
- 成田 澄子(脇元)
- 鈴木 豊(福島)
- 釜巻留美子(十三)
- 葛西 治仁(脇元)
- 佐藤 弘美(東京)
- 三浦 恭武(相内)
- 内城 篤子(八戸)
- 山田千代志(脇元)
- 富崎 洋子(八戸)
- 高藤 保(弘前)
- 奈良 浩子(十三)

お誕生
三和 恵里(磯松) 明彦
伊南 薫(磯松) 徹
成田 広樹(磯松) 勝幸

- 中井 誠(十三)
- 澤田はるみ(北海道)
- (三和 鋭敏(相内)
- 北澤 絳子(車力)
- 中村 勝彦(脇元) 16歳
- 奈良豊次郎(太田) 85歳
- 柏谷 タミ(相内) 63歳
- 工藤 弘治(十三) 41歳

おくやみ